

令和4年第9回 幸手市教育委員会定例会会議録						
招 集 期 日		令和4年9月20日（火）午前9時30分				
開 会 場 所		ウェルス幸手 2階 第1会議室				
開会の日時・宣告者		令和4年9月20日（火）午前9時30分			山 西 実	
閉会の日時・宣告者		令和4年9月20日（火）午前11時54分			山 西 実	
出席 状況	職 名	氏 名	摘 要	職 名	氏 名	摘 要
	教 育 長	山 西 実	出 席	教 育 委 員	高 島 勝 也	出 席
	職務代理者	会 田 研 司	出 席	教 育 委 員	藤 沼 寛 次	出 席
	教 育 委 員	岩 崎 万 紀 子	出 席	教 育 委 員	古 沢 万 友 実	出 席
傍聴人：0人				書 記：大 竹 孝 典・河 口 奈 緒		
議 事 参 与 者	職 名	氏 名	職 名	氏 名		
	教 育 部 長	小 林 秀 樹				
	総 務 課 長	服 部 道 春				
	学校教育課長	堀 越 成 夫				
	社会教育課長	仙 田 茂 雄				

会 議 事 件 名	顛 末
開 会 午前 9 時 30 分	教育長 開会を宣する。
日程第 1 前回会議録の承認	教育長 令和 4 年第 8 回教育委員会定例会の会議録の内容について質問を求める。 《質疑》 質疑なし。 《承認》 全員異議なく承認。
日程第 2 協議事項 幸手市における令和の 教育像	学校教育課長及び藤沼委員 「幸手市における令和の教育像」について、資料により説明する。 《質疑》 岩崎委員 学校だよりを細かく分析していると感じた。学校だよりを毎月発行することは大変だと思う。地域との繋がりが強い学校ほど発信する情報が多いと感じている。子どもは地域全体で育てていくものと考えており、学校だよりは地域との関係がよく現れているので、学校だよりの分析は勉強になった。 藤沼委員 率直に校長は大変だと思う。本来なら保護者と一人一人話したいところを、学校だよりを使って校長の思いを伝えることはとても素晴らしい。これが幸手の令和の教育のレガシーではないかと感じている。 高島委員 学校だよりは、私が校長の時は全部作っていた。その時心掛けていたことは、子どもとのエピソードなど、子どもが読んでも親が読んでも面白い内容を書くことで、知・徳・体に繋がるエピソードを交えながら、学校経営の考え方を書いていた。 古沢委員

	3点お話ししたい。 1点目は、学校だよりは、校長の考えや思いを知る良い機会と思っている。令和の教育では、子ども一人一人に最適な学びということで、子どもたちの意欲を引き出すための先生方の頑張りに期待している。 2点目は、幼児教育の場面では、ゼロベース教育というものがあるが、小学校でも、子どもたちが興味を持っている学習を自由に学べる時間があつたらいいと思う。 3点目は、幸手市の特色として、この学校は農業体験ができる、この学校は運動に力を入れているなど、学校ごとの特色をもとに親と子どもで学校を選択できたらいいと思う。私は教育の専門家ではないので、幸手市の教育の特色という考えを聞きたい。 高島委員 2点お話ししたい。 1点目は、特色というのは、他と違ったことではないと思っている。特色とは、自分の地域に合ったものや子どもたちの状況に合ったもので、それをどうするかを考えていくものであると考える。 2点目は、一番大切なことは、先生方がどう成長していくかであり、先生方が学び合って授業を高めていくことが校長の注力するところではないかと思う。その場その場の子どもの反応に応じて指導内容を変えていくことが重要であるということで、先生方がこのような対応ができることが教育の質を高めることになると思う。 このようなことを高めていくことが学校の特色に繋がっていくのではないかと思う。 教育長 それぞれの学校の立地条件や地域との関わりによっても違ってくる。例えば、稲刈りでも、さくら小学校は1学年での実施であるが、吉田小学校は小規模校なので全児童で行い、6年生が1年生に教えながら行っている。学校規模によっても稲刈りでも違った体験になる。これも学校の違い、特色と言えるのではないか。 藤沼委員 1点お話ししたい。 それぞれの地域で根付いた歴史があり、また昔からの策もあり、その策がどう教育にインパクトを与えるのか、
--	---

	とても難しいと思われる。 学校の先生は教育のプロであるから教えることは問題ない。あとは地域をどう巻き込むか、その策をどう扱うかが難しいと感じる。 教育長 全国の中にはコミュニティスクールを始めた時に、学校運営協議会委員の任期を決めなかったことから、地域の有力者が校長より長く務め、校長が思うような学校経営ができなくなってしまったという事例があった。 高島委員 そもそもコミュニティスクールの考え方とは、市場経済を学校の中に持ち込むことである。学校は保守的であるのでそれを打破したい、しかし民間や市場経済をそのまま学校に持ち込むのは、なかなか難しいところがあると思う。改革となると違うことをしないといけないということで導入されたものではあるが、学校の良さと変えていかなければならないものを両方噛み合わせながら新しいものを作っていく必要があると思う。 会田職務代理者 2点お話ししたい。 1点目は、藤沼委員の分析は凄いなと感じた。高島委員同様、私も校長という立場で見ると、学校だよりは難しい内容よりは優しい内容にする、誰に対して書くかということもある。小学校は保護者向けであるが、中学校は生徒向けが多いと感じる。私は保護者向けに書いて、子どもたちの活躍のことや親の立場に立って意見を述べたりしていた。校長の仕事はいろいろある中で、学校だよりが一番大事な仕事かなと思う。学校だよりをこのように鋭く分析していただき有難い。 2点目は、これからの学校の在り方を考えるうえで、私は学校の目的は学力を上げることが一番であると考えている。勉強さえできればよいだけではないが、それを無くして学校は成り立たない。知・徳・体の知が一番前に来ているのだから、知を忘れてはいけないと思う。 高島委員 学校で一番時間をかけているのは授業である。だから先生方が子どもたちの学力を上げるために、興味関心を持ってやれる授業をすることが一番だと思う。先ほど
--	--

程第 3 議 事 議案第 29 号 令和 5 年度当初教職員 人事異動方針等について	藤沼委員が先生方は専門家であると言っていたが、先生によって授業は全然違ってしまう。そこを先生同士で切磋琢磨して、良い授業とはどういうものかをみんなで話し合い、授業で勝負できる先生方を作ることが重要であるとする。 学校教育課長 議案書により説明する。 《質疑》 高島委員 6 頁の再任用職員について、管内の配置を原則とするが、これにより難しい場合は広域的な異動により配置を行うとなっている。実際に近隣市町村との配置は可能であるのか。 学校教育課長 可能である。 高島委員 今後、再任用職員が増えていく中で、近隣市町との連携は不可欠となることから質問した。 岩崎委員 7 頁の文言が女性教職員の異動についてとなっているが、教職員の異動についてという文言でいいのではないのか。 学校教育課長 男性が女性がということではなく、特に女性については配慮するという内容だと捉えている。 《採決》 全員異議なく原案どおり議決。
議案第 30 号 幸手市文化財保護審議会委員の委嘱について	社会教育課長 議案書により説明する。 《質疑》 岩崎委員 所属を記入していただき見やすくなった。上尾市職員は、委員を委嘱しても問題ないのか。

議案第 31 号 幸手市公民館運営審議会委員の委嘱について 専決報告第 19 号 臨時的任用教職員の内申 日程第 4 行政報告 1 教育長報告	社会教育課長 無報酬または、上尾市が許可すれば報酬も出せるが、委託については問題ない。 藤沼委員 10名いるが、新任の方はいるのか。 社会教育課長 2名の方が新任である。 藤沼委員 新任の方の選任方法はどのようにしているのか。 社会教育課長 1名は、以前に幸手市市史編集委員会委員をお願いした経緯があることから選定した。 もう1名は、現在、埼玉県平和資料館に勤務されており、県文化財保護課など多方面で活躍されていることから選定した。 《採決》 全員異議なく原案どおり議決。 社会教育課長 議案書により説明する。 《質疑》 質疑なし。 《承認》 全員異議なく承認。 学校教育課長 議案書により説明する。 《質疑》 質疑なし。 《承認》 全員異議なく承認。 教育長 1 各種教育長会議等 2 幸手市議会関係 3 講演等 について資料により説明する。
---	---

2 事務局からの 主要な報告	教育部長 令和4年第3回幸手市議会定例会一般質問（教育委員会部分） について資料により説明する。 総務課長 1 幸手市教育審議会の進捗について 学校教育課長 1 表彰関係 2 今後の主な行事 3 令和4年度市内各小学校修学旅行について 4 令和4年度全国・埼玉県学力・学習状況調査の結果について 社会教育課長 1 第31回埼葛人権を考えるつどい 2 第1回青少年問題協議会 社会教育課長（公民館） 1 8月の利用状況 2 事業報告 3 今後の事業予定 社会教育課長（郷土資料館） 1 報告事項 2 今後の事業予定 社会教育課長（図書館） 1 報告事項 2 利用状況 3 今後の事業予定 4 予約の多い図書（上位5冊） 社会教育課長（体育施設） 1 利用状況 2 自主事業 3 今後の自主事業 について資料により説明する。 《質疑》 会田職務代理者 一般質問の答弁の中での確認だが、不登校児童生徒の割合は、令和3年度の数字か、令和4年度7月末の数字か。
----------------------------------	---

	学校教育課 不登校児童生徒の割合は、令和４年７月末の数字である。 会田職務代理者 この小学校０．９％、中学校３．８％は、国・県と比べてどうなのか。 教育長 国、県よりも若干低い。 会田職務代理者 ゼロが望ましいが、決して幸手市は多いということではないが、中学校３．８％というのは多いと感じた。 岩崎委員 コロナ禍により在宅勤務する保護者も増加し、不登校の新たな要因となりうるとあるが、在宅勤務で不登校の要因になることがよくわからない。 教育長 コロナ禍以前は、朝は家族で支度して出掛けたが、保護者が在宅勤務になると、朝のリズムが変わり、朝の士気が変わってしまうことから、それが不登校の一つの要因になってしまう場合がある。 藤沼委員 図書館の立地場所は低く、浸水の恐れがあり、大切な書籍が濡れてしまう恐れがある。なにか対策はあるのか。 社会教育課長 図書館の地域は、水害の多い地域ではある。しかし、近年、排水ポンプを設置してからは、被害は少なくなっている。今後の浸水被害を考えると、書籍を２階に上げるということも考えなければならないかと思う。 高島委員 全国学力学習テストについて、伸び率を見ていいなと感じた。この結果を各学校も参考にして今後の指導の改善に生かしていただきたい。 岩崎委員 給食費について、給食費を抑えるために米飯を多くしているとあるが、保護者としては、幸手市は米作りが盛んで、幸手の米を食べることはいいなと思える。パンについては、どこの業者から購入しているのか。パンを減らして市内のパン屋が困りはしないか。
--	---

	総務課長 給食の主食は米が週４回、その他パンや麺が入っている。今回特に価格高騰しているのは小麦であり、パン・麺は価格が上がっている。 パン・麺については、埼玉県学校給食会から購入しているので、市内業者ではない。米については、同じく学校給食会から購入しているが、幸手産米を指定して購入している。 古沢委員 子どもたちはパンが好きだと思うが、輸入小麦の除草剤の問題が心配で、米飯が増えるのは保護者として安心である。また、加工品を使わず手作りしている点や、学校菜園など安心したものが使われていることは有難いと感じる。 総務課長 ずっと米飯でも飽きがきてしまうので、パンや麺も使っている。小麦については、学校給食会で厳選した小麦を使っていると聞いているので、ある程度は安心であると考えている。 学校菜園については、スケールメリットを受けられない小規模校では貴重な食材となっているので、引き続き行っていくと思う。 岩崎委員 古沢委員から、特色のある学校、特に農業ができる学校という提案があったが、私も、自給自足ができる学校、児童生徒が必ず農業に携わる学校があったらいいなと思う。 昔栄養士の勉強をしていたが、食育という点では自校式の給食はとても良く、学校菜園の食材を使うこともとても素晴らしいと感じる。ぜひ続けてほしい。 教育部長 学校の立地の関係ですべての学校ではないが稲作体験を行っている。子どもたちも喜んで取り組んでおり、将来農業に興味を持つ体験になっていると思う。 教育長 さかえ小学校では、稲作体験ではなく、平目の養殖をしている。平目が大きく育ったら、児童の目の前で捌いてみんなで食べるという命の授業も行っている。
--	--

日程第 5 その他 1 次回定例会の 日程 2 次回の協議事項 閉 会 午前 11 時 54 分	会田職務代理者 不登校の話とは逆に、皆勤賞について、今でも出している教育委員会もあるようだ。確かに 1 日も休まないというのは素晴らしいと思うが、生まれながらにして、定期的に病院へ通う必要のある子どももいる。 また、気が付いたら休まなかったというなら良いが、皆勤賞があるために体調が悪くても無理して登校する。こうなっては本末転倒である。皆勤賞を教育委員会として出すということは今の時代には合わないと考える。 各委員の意見を調整した結果、10 月の定例会については、次のとおり決定する。 第 10 回教育委員会定例会 日時 令和 4 年 10 月 11 日（火） 午前 10 時 30 分 場所 八代小学校 1 階 会議室 総務課長 協議の結果、「令和 4 年度幸手市教育行政重点施策（上半期）進捗状況」について、議題とする。 教育長 閉会を宣す。
---	---

ほ か 特 に 重 要 と 認 め る 事 項	な し
	上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、ここに署名する。 令和4年 9月20日 教 育 長 山 西 実 署名 署 名 委 員 高 島 勝 也